

75周年実行委員会2008年度経過報告

75周年実行委員会委員長 新庄博志

今回の翔友は久々に賑わいのある紙面になると期待しています。今年3月の全国大会における久しぶりの現役の活躍は、一人のOBとしても感慨深い喜びがあります。Web上の窪田顧問の喜びようは、僕のときは愛想も無かったのにと、少々僻みも含み、それもまた嬉しいものです。

それでは2008年度の経過を報告いたします。4月に校祖墓参を兼ね、幹事、ブロック長、年次委員合同説明会を開催しました。春の心地よい天候に恵まれ、久しぶりに新島先生の墓前に手を合わせることができました。同志社の卒業生であることを再認識できました。こんなに早く登れるものかと思いましたが、学生の頃は余裕も無かったのでしょう。また皆様もお誘いいたします。小汗をかいた後、河原町で美味しいものを食べましょう。

会議では朝日新聞が学連から手を引く話が出ました。太田OBが関西の中心になって今後の対応を進めてくれています。実行委員会や幹事会で常に報告をしてくれています。どうぞ応援お願いします。

実行委員会は4回開催しました。75周年当日のイメージが以下のとおり整いました。

〈2011年秋、土曜日か日曜日〉

午前中 礼拝 正午 昼食・エクスカッション

15時 記念式典 16時 基調講演

17時 祝賀会 19時 京都ナイト(2次会)

前日はゴルフで「政会長カップ」開催は如何でしょうか? そろそろ、会場、来賓、参加者の範囲を決めていかないといけません。他部の周年を参考に組上げたいと思います。

基調講演の講師には茶道裏千家前家元千玄室氏に快諾いただいています。皆様もご承知の通り、航空部の直接の先輩ではありませんが、同志社在学中に戦争を経験され、終戦後はお茶の道を通じ

て世界中で平和の尊さを語っておられます。昨夏に政会長と一緒にお願いに上がったときも、同じ空に開ったものとして親しく接していただきました。相当な高齢にもかかわらず、まだまだ声量の豊かさには驚かされるばかりです。

10月には大津市の小松リトリートセンターで恒例となりました現役とOBの研修会を開催しました。今回は政会長からプランの立て方を学びました。今年は社会人クラブで活躍しておられるOBに、ソアリングの醍醐味や卒業後の人生と空との付き合い方をお話していただく予定です。参加者全員で親しく膝を突き合わせる時間は、OBにとって懐かしくもあり、新たな認識や発見もあり、貴重な時間となります。今年も企画いたしますので是非、秋の京都、琵琶湖を楽しみがてら、ご参加ください。

2009年度に高性能新単座機導入が決まりました。くわしくは別出されると思いますが、現役の自らの強化策に際して、機体購入費の一部として300万円を実行委員会から拠出することとなりました。当初の予算から費用が格段に下った要因は今回の経済危機の中でのユーロ安です。このチャンス逃す手はありません。それにしても森川監督の指値のタイミングは抜群でした。彼を研究者にしておくにはもったいない。翔友会のファンドマネージャーに迎えましょう。

実行委員会が具体的に前に進んでいくと、課題が見えてまいりました。従前の組織は残念ながら体系的に機能できていません。クラブの伝統も上手く伝え切れていないようです。我が航空部の卒業生として、社会人としての最低限のマナーも教えておく必要もあるでしょう。一方で学生の活動に、今後どのような支援が必要なのかも改めて議論する必要がありそうです。学連の組織改革の動

航空部75周年実行委員会予算(一般会計) 収支修正予算書(案)

(自：平成20年3月1日 至：平成24年3月31日)

(単位：円)

	科 目	予 算 額	備 考
収入の部	別途会費	4,928,000	80,000円×280名×22%
	登録料	3,500,000	10,000円×350名(祝賀会参加者)現役30、来賓70、来客OB等
	寄付金	2,000,000	個人
	広告料	500,000	企業
	雑収入	100,000	預金利息、事業収入、インセンティブ他
	合 計	11,028,000	
支出の部	会議費	50,000	10,000円×5年
	事業費	10,300,000	
	事務局費	50,000	備品等
	事務費	500,000	通信費、消耗品費等
	雑費 予備費	50,000 78,000	
	合 計	11,028,000	
事業費細目	現役事業・強化	3,000,000	新機体購入費
	記念式典事業費	1,000,000	会場費、会場設営費、講師謝礼
	祝賀会	4,000,000	登録料、会場費、会場設営費
	記念誌	1,300,000	記念誌製作費
	記念品	500,000	寄付記念品、当日記念品制作費
	広報渉外費	400,000	記念CD作製費、HP作製管理費
	プレ事業費	100,000	
	合 計	10,300,000	

*機体購入特別会計収支予算書(案)は削除

向も見据え、それにも対応していかなくてはなりません。高性能の単座機導入後は、クラブの形も顕著に変わってくることでしょう。

2年後の75周年のときまでには、次の周年に向け、組織や活動の議論が必要です。周年を打ち上げ花火で終わらすわけにはいきません。すでに記念式典や祝賀会の段取りだけなら、優秀な松岡事務局長の指図で、もう十分に準備できます。それ故に今年度は、予定された調整事項や決定事項を肅々と実施していくことは勿論のこと、将来に向けての議論の深まりを求めようと思います。

とはいえ、卒業したものにとっては、楽しさが一番です。周年の集いの組立ては「いろいろな同窓会の集合体」と考えていきたいです。ブロック長さん、年次委員さんを頭として時期を見て同窓会を開いていただき、世代の懇親を深めていただきたいです。また、関西関東だけで

なく、地域の集まりも実施していただきたいものです。今の時代、義務感だけの集まりは収束することは必然です。誘い、誘われ、楽しむ関係を構築しなければ、これからの組織は継続しません。その上で、未来に向けての展望が見出されてくればありがたいものです。現役の戦績や新機体の導入など、酒の肴、話題に事欠かないと思います。

最後になりましたが、周年の寄付金のお願いに際しては、厳しい経済状況の中、多くの皆様にご協力をいただいておりますこと、感謝申し上げます。ご温情は厳粛に、無理なく無駄なく使ってまいりたいと思います。次々と来る事務局からの寄付金依頼文に、眉をひそめておられる方も多くとお察しいたしますが、どうぞこれからも、額の大小に関らず、ご都合がついた時に、お気持ちをお寄せいただければと願っております。ありがとうございます。